

第1回進路説明会

板橋区立板橋第三中学校
進路学習部

進路選択に向けて

【生徒のみなさんへ】

- 1 なりたい自分を思い描き、「目的」をもって進路を選択しましょう。
- 2 保護者と進路について話し合い、自分の考えを伝えたり意見を聞いたりしましょう。
- 3 最終的な意思決定は自分であるという責任をもちましょう。
- 4 自分自身の興味・関心に基づき、進路先について探究しましょう。
(例:卒業後の進路、特色のある教育活動、部活動、通学時間、校風など)
- 5 進路先の「教育方針」が自分にあうかどうかを進路選択の第一基準にしましょう。
- 6 担任を中心に、学年の先生への報告・連絡・相談を密にしましょう。
- 7 先を見通し、計画的に学習を進めましょう。
- 8 心と体の健康を保つ習慣を身に付けましょう。
- 9 校内で行うまとめテストは進路選択の資料であり、学習の進み具合の目安にもなるものです。真剣に取り組みましょう。

【保護者の皆様へ】

- 10 入試制度については、都立校、私立校ともに多様化しており、変化が激しくなっています。
必ず各家庭で入試要項や説明会などで確認し、それぞれの学校ごとの基準に従ってください。
- 11 費用の面では、奨学金などの利用もできます。
- 12 学年全員の進路決定まで他の生徒への思いやりも忘れぬよう、ご家庭でもご配慮ください。

年 組 番 氏名

もくじ

- 1 各種 QR コード一覧・・・・・・・・・・・・・・・・P.2
- 2 進路選択に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
- 3 上級学校の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4
- 4 都立高校の入試制度・・・・・・・・・・・・・・・・ P.6
- 5 都立入試シミュレーション・・・・・・・・・・・・ P.8
- 6 私立高校の入試制度・高校への出願上の注意 ほか・・・ P. 9
- 7 その他 入試に関わること・・・・・・・・・・・・ P.11
- 8 就職の選考制度・・・・・・・・・・・・・・・・ P.11
- 9 高校入試における板橋第三中学校の推薦基準について P.12
- 10 学校公開・説明会・体験入学などに参加するときは・・・P.13
- 11 学校見学・訪問の記録・・・・・・・・・・・・ P.14
- 12 第9学年今後の予定について・・・・・・・・・・・・ P.15

I 各種 QR コード一覧表

 <p>だから都立 【入試情報をまとめているページ】</p>	 <p>だから都立 【都立高校を検索できるページ】</p>
 <p>都立高校入試制度 実施要項 (昨年度のものを掲載／今年度のものは9月頃掲載される予定)</p>	 <p>東京都教育委員会 ESAT-J(英語スピーキングテスト)特設ページ</p>
 <p>東京都私立中学・ 高等学校協会 HP 【私立高校を検索できるページ】</p>	 <p>板橋区 HP 【板橋区奨学金・その他の奨学金をまとめているページ】</p>
 <p>入試説明会・個別 相談 報告フォーム 【見学をしたら必ず記入をしてください】</p>	

2 進路選択に向けて

進路は、誰かに決められるものではなく、「自分がどう生きたいか」を考え、自らの手で切り拓くものです。表紙の指針にもある通り、最終的な意思決定には自分が責任を持つという自覚を持ちましょう。その納得感ある選択のために、以下の3つのステップを大切にしてください。

1 自分自身のことを知ろう(自己理解)

- 学習習慣の振り返り：授業への集中度や、提出物の期限遵守ができているか。
- 学力と適性の把握：得意・苦手教科の分析と、現在の客観的な学力レベルの確認。
- 将来のビジョン：中学・高校卒業後、どんな自分になりたいか(目的意識)。

2 志望校のことを知ろう(学校理解)

- 「百聞は一見に如かず」：評判や偏差値だけで判断せず、必ず生徒と保護者で足を運び、学校の雰囲気を感じてください。
- 教育方針とのマッチング：その学校の教育目標や特色(文武両道、進学重視、資格取得など)が、自分の「なりたい姿」と合致しているかを最優先に考えましょう。
- 多角的なチェック：通学時間、部活動、行事、そして必要な学費についても総合的に判断しましょう。

3 家族と話し合っって志望校を決定しよう(合意形成)

- 本音の対話：本人の希望と家族の願いをすり合わせます。
- 現実的な検討：自分の実力・経済的な側面(学費など)についても早めに共有しましょう。

※必要に応じて奨学金制度などの活用も視野に入れます。

3 上級学校の特徴

1 高等学校

(1) 設置者による分け方

- ・国立
- ・都立
- ・私立

(2) 課程による分け方

- ・全日制 …… 朝から午後までの日中に授業を受ける(3年間)
- ・定時制 …… 夜間(5時頃から9時頃)やその他定められた時間帯に授業を受ける昼夜間制(3～4年間)
- ・通信制 …… 郵送された教材・レポートなどで学習し、決められた日数は登校する(3年間～)

(3) 学科による分け方

- ・普通科 …… 学習の中心が普通教科におかれ、多様な進路に応じた一般的な学習をする
- ・コース制 …… 普通科に属するが、特定の教科に重点を置いて学習をする(語学系、文科系、理数系、美術系、情報系など)
- ・専門学科 …… 工業学科(機械・電気・電子など)、商業学科(商業・情報処・会計など)、農業学科(園芸・動物・食品など)、科学技術科(科学や技術について学ぶ)他にビジネスコミュニケーション科、情報学科、家庭学科、美術学科、福祉科、保健体育科、産業科、国際科など
- ・総合学科 …… 多様な科目を開設し、普通科と専門学科の枠を超え、系統的・専門的に学習をする

上記のほかに都立高校では、以下のような学校もあります。

- ・進学指導重点校など …… 特に大学進学に対応した教育課程編成をしている普通科
- ・チャレンジスクール …… 学校を休みがちであった生徒を対象にした高校(桐ヶ丘、稔ヶ丘高校など)
- ・エンカレッジスクール …… 学習意欲をわかせて、基礎的・基本的な力を身につけさせることを目的にした高校 ※30分授業・体験学習など(練馬工科、足立東高校など)

2 高等専門学校

高等専門学校とは、中学生を対象とする中等教育(高校課程)と高等教育(大学課程)をあわせた高等教育制度です。修学年数は5年間で、その多くは主として工学系の技術者になるための学校です。卒業生は、準学士となり、短大卒と同等の資格を得られます。また、卒業時に大学3年へ編入学する道や高専の上の専攻科に進み、大学卒業と同じ資格(学士)を得る道などが開かれています。

3 高等専修学校

高等専修学校とは、各種学校の中で、より高度な職業教育を行う学校として設置されたものです。修学年数は1～3年間で、「職業もしくは実際の生活に必要な能力を育成し、または教養の向上を図ること」を目的としています。

多様化する生徒のニーズに応える後期中等教育機関として高等学校と並ぶ進路先として考えられています。卒業後は高等学校卒業と同等です。

課程	対象	名称
高等課程	中学卒業生	〇〇高等専修学校
専門課程	高校卒業生	〇〇専門学校
一般課程	学歴・年齢等問わず	〇〇専修学校

4 都立職業能力開発センター

東京都では、社会に役立つ技能者を養成するための機関を設置しています。修了後は、ハローワークが就職のあっせんもしてくれるため、就職状況も大変よいのが特徴です。ただ、広く一般の就職希望者に門戸を開けているため、高校を卒業した人や大学を卒業した人など、様々な人が入学しています。

普通課程(1,2年間)＜機械・電気・建築など＞の一部では、中学校卒業生を対象にした推薦入校制度もあります。

5 企業内学校

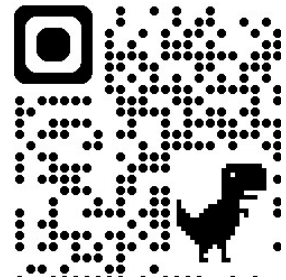
数は限られますが、企業が設立した学校に入学し職業訓練を受けながら高等学校の資格を取得するものです。卒業後はその企業に正式に配属になります。在学中手当としてのお給料をもらうことができます。
(日野自動車、トヨタ工業、マツダ など)

4 都立高校の入試制度

都立高校入試制度実施要項

※ 今回の実施要綱は、9月以降に都から示される予定です。

※ 右のQRは前回のものです。

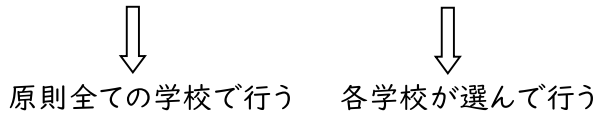


1 推薦に基づく入試(推薦入試)

- (1) その学校を第一志望とする。中学校長が推薦する(=生活指導上問題がない)。
合格したら、必ず入学する。他校を受験することはできない。
- (2) 推薦入試には「文化・スポーツ等特別推薦」と「一般推薦」、「理数等特別推薦」があるが、いずれも学力検査は行わない。全員が個人面接を受ける。作文または小論文、実技検査、口頭試問などから1つ以上の検査も課せられる。
- (3) 入試の成績については以下の通りである。

総合成績

調査書点 + 集団討論・個人面接点 + 小論文または作文点 + 実技検査点 + その他学校が設定する検査の点



調査書点は、観点別学習状況の評価(ABC)または9教科の評定を点数化する。

※一部の学校で集団討論を実施しています。年々実施校が増加していることに注意してください。

(4) 推薦入試の募集人員 その他

9月以降に発表されるので、その際に確認することが必要です。

2 学力検査に基づく入試（第一次募集） ※一般入試とも呼ぶ。

(1) 入試の成績については以下の通りです。

総 合 成 績

$$\text{学力検査点} + \text{調査書点 (4月～11月の成績)} + \text{ESAT-J点} = \text{総合得点}$$

※ **ESAT-J点**はエンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校等は対象外です。

※ この他に、+ 面接点、小論文(作文)、実技検査を行う学校もあります。

それぞれの点数については、以下の通りとなっています。

① 学力検査点

全日制の第一次募集では、5教科(国・数・社・理・英)実施。

② 調査書点

全日制の第一次募集では、

$$\text{5教科の評定合計} \times 1 + \text{4教科の評定合計} \times 2 = 65\text{点満点}$$

③ 学力検査と調査書の比率(重視の仕方)

全日制の第一次募集では、

$$\text{学力検査点} : \text{調査書点} = 7:3 \text{ または } 6:4 \text{ (体育科・芸術科等一部)}$$

④ 特殊な選抜方法を行う学校

エンカレッジスクール(足立東ほか)やチャレンジスクールなどの他、定時制などもあります。

この他にも、特色ある入試を行う学校があるので、必ず個人で確認する必要があります。

3 今までの入試との変更点

- ・全日制課程の分割後期募集は廃止となりました。一方で、今まで通り第一次募集の入学手続き人員が募集人員に達しない学校では、第二次募集を行っています。
- ・通信制の高等学校の入試日程が変更となりました。

次ページに都立入試の得点をシミュレーションできるページがあるので、ぜひご活用ください。

5 都立入試シミュレーション

入試シミュレーション

1 9年1学期の評定

国語	数学	英語	社会	理科	音楽	美術	技術	保体
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
①ア+イ+ウ+エ+オ=					②カ+キ+ク+ケ=			

2 7月まとめテストの点数

国語	数学	英語	社会	理科	合計
					③

3 内申 ※素内申(単純合計)→私立推薦入試の推薦基準となる ※換算内申(5科+4科を2倍した合計)→都立一般入試

(1) 5科 内申合計 ①	⇒	<input type="text" value=""/> /25	※素内申
(2) 9科 内申合計 ①+②	⇒	<input type="text" value=""/> /45	
(3) ※換算内申 ①+(②×2)	⇒	<input type="text" value="④"/> /65	

4 総合得点(7:3)

内申点	学力テスト	
<input type="text" value="⑤"/> /300	+ ⑥	=

$$\textcircled{5} = 300 \times \textcircled{4} \div 65 \quad \textcircled{6} = 700 \times \textcircled{3} \div 500$$

6 私立高校の入試制度・高校への出願上の注意



※一般財団法人 東京私立中学高等学校協会のサイトもご参照ください

※学校ごとに特色があります。必ず要項・高校説明会などで確認してください。

1 推薦入試(いわゆる「単願推薦」)

- (1) その学校を第一志望とする。中学校長が推薦する(=生活指導上問題がない)。
合格したら、必ず入学する。他校を受験することはできない。
- (2) 各高校の基準を満たす。
教科の評定の合計点(素内申)、出席状況ほか生活態度等の基準を満たす必要があります。
その他英検などの資格、「スポーツ推薦」では大会の成績などを考慮する学校もあります。
- (3) 調査書と面接による選考が原則だが、作文、適性検査などを実施する学校もある。
- (4) 基準に達していれば受け入れるところと、集まった希望者の中から一定の数を受け入れる学校がある。
- (5) 12月15日から、高校と中学校教員との間で「入試相談」が行われる。中学校の資料に基づいて推薦入試を受けられるかどうか判定がされる。可否の可能性を伝えられることがあるが、確約ではない。最後までしっかりと学習、生活することが非常に大切。
- (6) 学業成績などに応じて、特待生制度を設けている学校もある。資格基準や特待の内容は、各学校によって違う。調べておく必要がある。

2 一般入試

(1) 「併願優遇」

- ① 他の志望校が不合格になった場合は必ず入学することを条件に優遇してもらう制度。
- ② 各学校によって名称はさまざまであり、制度もさまざまなので、必ず説明会や要項で確認しておく。

例) 公立学校との併願を認める制度

私立学校も含めた併願を認める制度（「公私併願」「私立併願」など）

- ③ 高校ごとの基準を満たす。
教科の評定の合計点（内申点）、出席状況ほか生活態度等の基準を満たす。
その他英検などの資格、大会の成績などを考慮する学校もある。
- ④ 推薦入試と同様に、12月15日からの「入試相談」を行う。合否の可能性を伝えられることがあるが、確約ではない。
- ⑤ 学業成績などに応じて、特待生制度を設けている学校もある。資格基準や特待の内容は、各学校によって違う。調べておく必要がある。

(2) 優遇措置のない一般入試

- ・自分の実力だけで挑戦する受験方法。
- ・単願推薦や併願優遇の割合が高いと、純粋な一般入試の定員が少なくなっている場合もある。一般入試の定員枠を確認する。

(3) 学力検査

- ・3教科が一般的。

(4) 面接

- ・個人面接、グループ面接、保護者面接などさまざまな方法があります。

(5) 調査書

- ・書式は学校によって異なる。どのように入試に使用しているかは、学校ごとに決めています。

※作文や実技をする学校もあるので、各家庭で調べておく必要があります。

7 その他 入試に関すること

1 高校への出願上の注意

- (1) 第二志望(併願)として私立校を受験する場合、都立高校発表までの入学納付金の取り扱いを確認してください。「手続き期間が都立発表日以後まである」「納付金の延納願いを出す」「納付金の一部または全額を納付する」など、制度はさまざまです。
- (2) 一人でも多くの生徒が進学できるよう、入学手続き完了後の出願はご遠慮ください。
- (3) 都立校の願書・自己PRカードなど出願に必要な書類はインターネットで行います。私立校の出願書類は各自で用意し、学校で記入するものは学級担任に依頼してください。

2 専修学校・各種学校などへの進学

担任及び学年の教員までご相談ください。

8 就職の選考制度

- (1) 就職を考える場合、次のような方法がある。
 - ① 就職のみ。
 - ② 就職しながら、定時制の学校に通う。
 - ③ 高等技術専門校等へ進学し、技術(資格)などを身につけた後、就職する。
- (2) 就職先をさがす場合、次の2方法がある。
 - ① 自己(縁故)就職……親戚、知人の経営及び紹介による就職
 - ② 紹介就職……管轄ハローワークの紹介による就職
- (3) 就職について、希望及び質問がある人は、担任に相談してください。就職担当から、ハローワークからのお話や、今後の日程など説明します。

9 高校入試における板橋第三中学校の推薦基準について

板橋区立板橋第三中学校
校 長 松本 彰弘
第三学年主任 貴志 那実江

推薦に基づく選抜について

穀雨の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。新学期が始まって1週間過ぎ、9年生は最上級生として、また受験生としての緊張感を持つてのスタートとなりました。

さて、本校では、推薦受験を希望する生徒に関し、各高校等の定める推薦基準に沿った推薦受験者を決定するため、下記のような推薦条件を決め、校内に設置する推薦委員会において推薦希望者を審査し、学校長が承認推薦する形式をとっています。その後も引き続きこの方針に沿った指導を子どもたちにしております。推薦受験を希望する生徒および保護者の方々は、推薦条件をよく理解していただき、ご家庭でもご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

本校の推薦条件

- (1) 高校の推薦の基準（成績や欠席日数等）が明示されている場合は、その基準に合致している。
- (2) 都立高校の推薦入試では「本校の期待する生徒の姿」に合致していること。
- (3) 合格した場合は、確実にその高校に入学すると約束できること。
- (4) 以下の各項目に該当しないこと。
 - ① 犯罪行為や触法行為を行った。
 - ② 学校の規則を守らない、指導に従わないといった行為を繰り返した。
 - ③ その他、校内外で生活面での問題があり、責任をもって人物を推薦することができない生徒。

10 学校公開・説明会・体験入学などに参加するときは(注意事項)

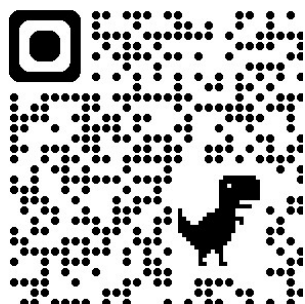
◆学校公開、説明会、体験入学などに参加するときは◆

学校公開、説明会、体験入学などに参加するときの注意事項を改めて確認しましょう。

出かける前に必ずチェックしましょう。↓

① 事前に参加する高校までの交通経路、所要時間を調べる。 電車の事故や遅れ等の可能性を考え、経路は複数調べておくが良い。	
② 集合時刻を確認し、10分前には着いていること。 遅れて高校の先生に迷惑がかからないようにすること。	
③ 公共の交通機関を利用すること。自転車の使用は禁止。	
④ 急な体調不良などで遅刻や欠席をする場合は、体験先の高校へ事前に連絡する。	
⑤ 身だしなみ(頭髪・服装・つめ等)を整え、カバンになどの持ち物にも気を遣う。かばんにつけるキーホルダー1個まで。	
⑥ 持ち物は学校生活に準ずる。	
⑦ 体験などで持ち物や服装の指示のあるときは事前に準備する。	
⑧ メモを取れるように筆記具を持参する。	
⑨ 1学期の通知表の写し、(受けていれば)模試の結果を持参する。	
⑩ 現在取得している検定資格を把握しておく。	

※各高校 HP にて最新の情報をこまめにチェックして、学校公開や説明会に参加しましょう。



学校見学・訪問報告

フォームでの入力をお願いします。



令和8年度 進路決定までの流れ (5/18現在)

板橋区立板橋第三中学校

※ 予定は諸事情により変更になる場合があります。

	1学期			夏休み	2学期			3学期				
	4月	5月	6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校行事	・始業式 ・入学式 ・全国学力調査	・学校公開 ・生徒総会	・第80回運動会 ・第1回漢字検定 ・各部夏季大会 ・期末考査	・終業式		・第1回数学検定 ・学校公開 ・修学旅行	・第2回英語検定 ・生徒会役員選挙 ・中間考査 ・第80回文化祭 ・第2回数学検定	・期末考査 ・進路面談	・終業式	・始業式 ・第3回漢字検定	・学年末考査	・卒業式
進路関係	・第1回進路希望調査		・第1回進路説明会 ・まとめテストNo.1 ・第2回進路希望調査 ・三者面談	・高校の先生の話を聞く会		・まとめテストNo.2 ・第3回進路希望調査 ・面接講座	・私立説明会開始 ・ESAT-U ・まとめテストNo.3 ・第4回進路希望調査 ・証明写真撮影	・進路面談 ・私立入試相談	・進路面談	・埼玉私立入試 ・私立推薦出願 ・私立推薦入試 ・都立推薦出願 ・都立推薦入試 ・都立推薦発表 ・私立一般出願	・私立一般入試 ・都立一般出願 ・都立一次取り下げ ・都立一般再提出 ・都立一般入試	・私立二次募集 ・都立一般発表 ・都立二次募集 ・都立二次入試 ・定時制二次出願 ・定時制二次入試 ・定時制二次発表

進路決定の計画	進路の理解と目標設定		志望校の研究と選択		受験校の決定		受験準備・出願	受験発表・手続	※最悪の事態を考えた手をおくこと
	進路について理解し、自分の特性や適性をつかむ	自分に合った進路を設定する	・志望する進路を研究し、理解を深める	・家族との話し合い ・志望校を絞り込む ・併願パターンを研究	・受験校の決定	・家族との話し合い	・入試要項をよく読み、不明な点は確認する	・受験校の入試や手続き日程、時間、場所などの確認	※必要に応じて、各種要学金など学費の準備を
基礎学力養成(1・2年の復習・苦手教科の克服・3年の復習)	教科別の対策をしっかりと立てる	1・2年の学習領域の復習 3年の授業の集中 不得意科目は予習・復習に力を入れる	実力養成(応用力をつける)	教科別の計画の見直し 実力を養成するための問題練習を繰り返す 弱点ポイントの克服 模擬テストを利用し、実践力をつけると共に雰囲気などにも慣れる	総仕上げ(目標を決定し、総合力をつける)受験	受験校に的を絞った学習 受験校の過去入試問題を解く 基礎問題の整理、基本事項の確認 総仕上げ完了と再確認	※受験が終わっても勉強を続けること		

12 第9学年今後の予定について